



# 善正寺だより

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:059-331-1670  
fax:059-332-0733

## 掲示板法話

### 欲望には限りがない

### 人生本当の拠り所はいずこ?

ウクライナのあちこちで、激しい破壊と凄惨な犠牲者が増えています。大ロシア主義の妄想に取りつかれた独裁者の侵攻を早く止めて欲しいものだと思います。ふと、ロシアの文豪、トルストイの「人はどれだけの土地が必要か」という寓話を思い出しました。

ある貧しい農夫が苦勞してわずかな土地を手に入れて耕したら少し暮らしがよくなった。

すると、「もっと、もっと」と欲望が膨らんでいく。ある日、旅商人に「わずかなお金で広大な土地が入る村がある」という話を聞いてその村へ駆けつけた。「一日中、ぐるりと歩き回って同じ場所に戻ってくれば困るだけだ。ただ、土地はお前のものになる。ただし、日没までに戻れないと全てを失う」と言われたその人は、日が昇ると夢中になつて歩き出した。…気づいた時には、日が西に傾き始めていた。

「まあ、大変」と全力で走り、日没の頃、息も絶え絶えに元の出发点にたどり着いた。「よし、望んだだけの土地はお前のものだ」と村長が叫ぶ



人にばたくさんの土地がいろいろ



だ時、男は息が絶えた。やむなく、彼の遺体を従者が土に埋めた。結局、その農夫に必要な土地は彼の墓穴だけであつた。

何と哀れな話でしょうか?欲望に惑わされたい人、人間の愚かさを口にして見事に描き出しています。この話をロシアの独裁者が知っているのかどうか、はともかく、私たちは自分自身に問いかけねばなりません。「お前は、何を求めて生きているのか?究極の拠り所は何だろうか?」

人は皆、毎日何らかの目的をもって生きています。生きていくためにはお金が必要だから、働かねばならない。子供を育てるため、もっと広い家が必要だ。付き合いのためにはスマホが必要だ。車も欲しい。一台、二台、三台と。衣服も必要だ、家族がそれぞれに…。それはそれでいいのです。だが、やがて歳をとり、病気になる。いつしかこの世の命が尽きる時が迫る。一体自分は今まで何のために生きてきたのか?人生究極の目的が問題になってくるの

## ☆行事ご案内☆

### 令和4年度『善正寺門信徒総会』

5月15日(日)午前10時 皆さんご出席下さい

- ① 3年度行事報告、決算②3年度行事計画、予算等
- ※行事様が出欠の返事(委任状)を回収します
- ※コロナで変更する場合は随時連絡します
- ※4月17日(日)午前8時半新行事長・新会計の選出を行いました。詳しくは来月号に掲載

### 三重組仏教婦人会主催『総会&追弔会』

5月30日(月)午後1時半講師:大竹章和師(桑名)

三重組各寺院の仏婦役員様や担当住職様が参詣  
夕方5時の鐘撞き 年中無休で誰でも開放ご褒美ガム

一線会テレホン法話 TEL 059・354・1454

三重組十三日講 5月13日(金)下海老明林寺様

第3回トライアングル 6月30日(木)後1時 歌と演奏

善正寺HP「三重善正寺」で検索1年分の寺報閲覧

毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』大好評

開設14年9カ月で37万5千訪問。悩み相談歓迎

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方相談下さい

法事場所でお困りの方本堂使用可、寺にご相談下さい

4月27日夜6時半三重組第19期連研第7回オンライン

研修会、3会場をZOOM連携。コロナ時代の新仏教研修



です。「人身受け難し、今すでに受く。仏法聞き難し、今すでに聞く。この身、今生に向かつて度せずんば、さらにいづれの生に向かつてかこの身を度せん。大衆もろともに至心に三宝に帰依したてまつるべし」(礼讃文:三帰依文)

地獄、餓鬼、畜生、修羅とさまよつてきたこの身が、不思議の因縁によりやつと、人間の命を頂いて今ここに在る。この人生において救われなかったならば、一体いつの世に救われるのか?早く、迷いの境涯を超えて、仏法僧の三宝に帰依する身になって下さい、と仏さまが呼び続けておられるのです。

## ☆ 写真アラカルト ☆



2022.03.13

2022.03.27 08:14

坊守スケッチ

辛酸をなめた木こそ銘木なれ



「寺の掲示板に「辛酸をなめた木こそ銘木なれ」とは心に響く言葉ですね。誰が言われたのですか？」と、ある参詣者から尋ねられた。以前毎日新聞に掲載した記事に基づき掲示板に書いた。

それは東レ研究所の渥美由喜氏のエピソードとして紹介された。彼の子供さんは誕生してまもなく、自閉症児だと診断された。幼い頃から数字には異常な興味を示すが、それ以外は関心がなく普通の子供とは様子が違った。

子育てに悩んだ末、子供の才能を伸ばそうと、子供の頃から数学を勉強させて検定試験に挑戦。6年生で見事難関の数学コンテストに優勝。他の分野では一般の子供より劣ることもあるが、得意分野で自信が付き、親子共々前向きな気持ちになった。自閉症児と診断された時には、お先真つ暗な状態だったが、息子の努力と晴れ晴れとした表情で親子共々救われた思いがした。

渥美氏の生家は代々銘木を扱う職業。ご先祖様からの言い伝えに「辛酸をなめた木こそ銘木なれ」という教えがある。太陽の恵みをいっぱい受けて真っ直ぐに伸びた木は、材木としては扱いやすいが地震には弱い。一方、四方八方に根を張り、曲がりくねった木は台風や地震にも強い。歴史的な建造物はこの樹木の性質を利用して建て

られたものが多い。善正寺本堂の梁や土台には、辛酸をなめた材木が使われているからこそ、地震や台風にも耐え戦禍も免れて、建立から160年以上経っても存在し続けている。

ところでこれまで才能に恵まれ、順調な環境で育った人は、逆境に弱く挫折し易い。

他方辛く苦しい経験を重ねた人は、それを乗り越える「智慧」があり、逞しく生き抜く。また弱者の気持ちばかり寄り添うことができる。

現在辛く苦しい状況にある人は、その経験が今後の「糧」になると信じて、力強く生き抜いて欲しいものです。

俳壇

永代経本堂広く春寒し 釋妙水

仏壇や卒業証書置かれたる 春の土機械で起こす畝の波

遠目にもここぞと咲けり山桜 釋樂邦

頬を打つ桜吹雪や暴れ風 往く花を愛でつ惜しみつペタル漕ぐ

尼寺の精進膳に芹並び 釋住安

あるじなき庭にほっこり桃の花 義母と嫁息びつたりの障子張り

花は花鈴鹿山々青あおと 釋清風

花の雨落花ひとひら靴の上 ランドセル弾みきらきら花吹雪

青空の卒業ポロポロの名札 釋秀龍

麗らかや洗濯物のゆらぎおり 原っぱに犬のふぐりとぼくの影

若坊守の子育て日記 No.89

三月の春季永代経には名古屋から私の友人が来て下さいました。友人と云っては失礼でしょうか？私の親ほどのお年のHさんです。

Hさんとは中央仏教学院の通信教育のスクーリングで初めてお会いしました。しかも一年次から三年次まで偶然にも同日程で受講し、寝食を共にしました。そのHさんが初めて善正寺を訪れて下さったのです。初めての境内を案内しながらも、そうではないような感覚が不思議でした。

愛知県出身の藤井聡太棋士の大ファンで、ファン仲間のSNSで盛り上がっているそうです。一時、我が家の長男が将棋にハマったときの話をしたら、嬉しそうに聞いてくれました。

Hさんにお会いしスクーリングの際には勤式指導所の先生方の厳しいご指導に触れたので、スクーリングの和気藹々とした雰囲気懐かしく感じました。あの時からのご縁を大切にして下さることに感謝し、集って下さる方の熱意に後押しされる永代経となりました。

ホットニュース

※4月16日三全仏教婦人会主催の「初参式」には、5名の赤ちゃんが受式(男児1名・女児4名)母子共に初めての仏縁に感動。名古屋・桑名・川越・日永・桜、遠方からご参加下さいました皆様にお礼申し上げます。降誕会は加藤幸子先生の法話でした。

※4月27日夜三重組連研第7回オンライン研修会。3会場に分散してお勤めと作法を学び「お浄土とは何ですか？」を受講者と共に話し合います。

※5月15日(日)午前10時「門信徒総会」行事様が出欠の返事を集めます。欠席者は委任状を提出して下さい。

※5月30日(月)午後1時半三重組仏教婦人会主催「総会&追弔会」を善正寺でお勤めします。三重組各寺より仏壇役員様と追弔会ご遺族が多数お集まります。受付 TENT を張り、駐車場も公会所等をお借りします。

カンパありがとうございます

阿曾香代子様、辻ひさる様、水谷勝子様他 匿名様より感謝！

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」341号をお届けします。◇ロシアのウクライナ侵攻は、無事の民衆が大量に虐殺されるなど、恐ろしい事態が続々判明。生き地獄を見せられる思いである。◇他方、コロナ禍も更に長引く予感あり、特に高齢者の虚弱化が進む。行動制限はやむを得ないが、この身は如来さまと一緒に心得て心身の活性化を願いたい。合掌。



先月三重組連研のオンライン研修会が本堂でありました。他人にどう見られているか気にならず仕方ありません」という問題提起後、3会場で意見を出し合いました。若い時は世間の目が気になったが齢を取ると気にならなくなった。「気にし過ぎると自分を失う」と所詮他人は他人、自分は自分。等自由な意見が出されました。私わわが身に引き当てて考えてみました。坊守業は世間の目を一番気にする職業です。「お寺の奥さんの行儀作法や言葉使いがなってない」「在家出身だから仕方ない」「お寺らしくない活動をして少々飛んでないか？」等。私も若い頃はガムシラに周囲の目を気にせず頑張ってきた。しかし現在は従来の行事をこなすことで精一杯。これも齢相応かもしれません。最近では他人の目を全く気にしない自分勝手な人が多いと思います。全く気にしないで我を通すのは世間を狭くして益々生き辛くなるのではないのでしょうか？朝の散歩で挨拶する人と無視する人がいます。挨拶は本来禅語です。「今日は」という挨拶の続きには昨日までの自分ではなく、これまで体験したことのないような全く新たな一日がありますようにという願いが込められています。家族や周囲の人と気持ちよく挨拶を交わして、あなたの世界を広げて新たな一日を過ごしましょう。他人の目を気にするよりも常に仏様の光に照らされて恥しくない生き方をしたいのかを問い続けたいと思います。

合掌

令和四年五月

善正寺坊守 拝